

除名処分を受けた某は此零圍氣を巧みに掴まえて御手盛制で獲得した壹萬圓は不當だと攻め立て一部の會員に喰ひ入り爾來八面六臂の筆陣に依つて非違を摘發攻撃して居り、其熱心と努力は敬意を拂ふに値するが、其出發点が平將門バリのものであつた爲、古い會員からは余りに顧みられない状態である。

昭和三年一月の役員改選には不思議にも昨年の協會雜誌十月號で投票掻き集めの不可と全然會員の予測にない人を理事とする事の不可とを論じた敬服すべき意見を發表した人と同姓の金尾氏を主班とする役員會が成立した。然るに其施政が余りに振はない所から辯護士試験をパスしたバカリの都竹氏の再出廬を求め、協會囑託と顧問辯護士として再び海員協會の樞機に參與する事になつた、其金尾氏の任期中には海上大争議あり海事協同會の創設あり都竹氏は此頃よりメキ／＼頭を擧げた鈴木氏と共に相當の成績を上げたが、校友會としてのみ動いて居た高等商船學校々友會及び十一會が會務に容疎する様になり、社外船同志會が生れ又サキに協會に合併した無線技士も協會内に一分野としての組織を結成した由來海員協會の組織は頗る複雑なもので

別、  
官公立商船學校、實地、及海軍豫備軍人等の出身別、甲板部、機關部及無線部等の職務

更に職務上の階級、其受有免狀の資格等々、  
が相錯綜して居るため、海員と云ふ建前からは同一歩調を取り得るが、一度其出身、職務或は資格の問題に當面すると忽ち對立的となる多くの素因を藏して居り、シカモ協會主腦者は常に官立商船出身者に依つて占められて來た爲め、職場に於ける實務上の軋轢から官公立商船學校出身者の間には學閥的溝壑がゲン／＼深くなる傾向があつたので心あるものは密かに協會幹部と會派或は會派の間にギャップが築かれるのではないかと憂慮するに至つた、シカルにそれより先には協會内の某々、は親交ある海員協會の役員にして海員組合の要職に在る某氏とガツチリと手を組み協會の主班者との間にギャップを築き上げ時の勞働代表顧問として渡歐した主事某氏は任を終えて歸朝すると共に辭任を余議なくさせられ漸く山手の上空には暗雲が現はれ次の役員選舉に公正を期し得ない機運が見えシカ岩崎勝三郎氏と思ふが選舉規則改正を提唱し投票を個人に委任し得ず總ての委任投